

経尿道的膀胱腫瘍切除術(TUR-BT)を受けられる患者様へ ～入院診療計画書～

泌-5.22-1

	氏名 _____ 様		病名: 膀胱癌		症状: 血尿 ・ その他 _____		年 月 日			
経 過			 手術		手術には 時 分にいきます					
	入院時 手術前日		手術当日				術後1日目	術後2日目	術後3日目以降	
			手術前		手術後					
月 日									退院日は患者様 によって異なります	
目 標	・手術について理解し、準備が整っている。 ・安心して手術に臨むことができる。 ・心配事や眠れないときは早めに看護師に お知らせください。				【手術後】 ・痛みが最小限で過ごすことができる。 ・血尿による尿管の閉塞がなく経過する。 ・尿管を抜いた後、排尿がある。 ・残尿感、残尿がない。				【退院基準】 ・残尿が無い。 ・発熱が無い。	
			尿の管の違和感や痛み吐き気等つらい症状があるときは、 看護師にお知らせください。				尿の管を抜いた後、血尿や残尿感、排尿痛などあればお知らせ下さい			
食 事	 通常食です (食事制限がある方は制限食)		 朝昼食べられません		看護師が麻酔が覚めたことを確認後 飲水・食事が可能となります		 水分は多めに摂るよう心がけましょう			
	時以降食べられません		時以降水分は とらないでください							
安静度	 制限はありません		手術室には歩いて向かいます。 歩けない方はストレッチャーで向 かいます。		帰室後はベッド上安静、麻酔がさめたら 医師の指示で歩行可能となります					
排 泄			 朝排便が無ければ 座薬をします		手術中に尿の管が入ります。 また、管の閉塞を防ぐため洗浄する場合があります		 血尿の状態をみて午前中の回診で尿の管を 抜きます。 尿の管を抜いた後の1回目の尿はカップにとっ て見せて下さい。 血尿と残尿を調べます。			
清 潔	 入浴しましょう		安静のため入浴はできません				シャワー浴出来ます 			
内服薬 点 滴	 内服薬を確認します		 薬剤師より薬について 説明があります		時常用薬を飲みます 時頃点滴をします		★手術中抗菌薬の点滴をします ★痛い時は痛み止めを使用します 痛い時は我慢せずお知らせ下さい ★食事が開始になると内服薬も開始しま す。		★常用薬(抗凝固剤)は医師の指示で再開 になります 	退院時服薬指導 (薬剤師) 
検 査					酸素吸入をします 心電図モニターを装着します					
説 明 指 導	入院生活、手術に 麻酔科医による麻酔 関する説明をします 説明があります		 注意 〈手術室へ行く前に〉 貴重品は家族又は金庫に保管して下さい 眼鏡、入れ歯、指輪、カツラ等ははずします(補聴器はつけたままで行きます)				術後説明 		退院後の治療に ついて説明します 組織の結果は 外来でお話します	
	特別な栄養管理の必要性 有 ・ (無)						40歳以上の方は、別紙《総合機能評価表》を用いて総合 的な機能評価を行う場合があります。			
備 考	《手術に必要な物》 平オムツ2～3枚 T字帯1枚		主治医: _____ 印		看護師: _____		旭川赤十字病院3階みなみ病棟 			
			主治医以外の担当者		薬剤師: _____					
					栄養士: _____					

※状況により変更になる場合があります